

2025 年度日本学生支援機構大学院第一種奨学金 業績優秀者返還免除申請要領

1. 申請受付

期間：2025 年 12 月 22 日（月）～2026 年 1 月 9 日（金）
月～金 9：00～11：30 12：30～17：00
※12/25、12/27～1/5 は事務室閉室のため受付不可
場所：所属校地の学生生活課

◆学会参加等により、やむを得ず受付期間内に申請ができないとあらかじめ判明している場合は、事前に学生生活課へ相談してください。事前相談がない場合は、いかなる理由があっても、上記申請受付期間後の受付は一切できません。

◆申請受付最終日は混雑しますので、余裕をもって早めに申請をしてください。

2. スケジュール

【出願期間】 2025 年 12 月 22 日（月） } 2026 年 1 月 9 日（金）	<紙媒体> 申請書類提出	提出書類： ① 2025 年度業績優秀者返還免除申請書..... 1 部 ② 特に優れた業績を証明する資料<紙媒体>..... 2 部 ③ 証明書交付願（該当者のみ）..... 1 部 ④ TA 等担当実績証明書（該当者のみ）..... 1 部 ⑤ 博士課程の業績評価に関するガイドラインについて （博士後期課程のみ）..... 1 部 ⑥ 返還免除申請チェックリスト （司法研究科生、ビジネス研究科生は不要）..... 1 部 ⑦ 学内選考結果送付先届..... 1 部 提出場所：所属校地の学生生活課
	<データ> 申請書類提出 （該当者のみ）	提出書類：④TA 等担当実績証明書（該当者のみ） 提出場所：Webdisk
2025 年 12 月 22 日（月） } 2026 年 1 月 30 日（金）	②業績資料 データ提出	提出書類：特に優れた業績を証明する資料<データ資料> 提出場所：Webdisk
2026 年 3 月 2 日（月） } 2026 年 3 月 6 日（金）	②のうち 修士論文梗概 データ提出 （該当者のみ）	提出書類：修士論文梗概（Abstract）データ（該当者のみ） 提出場所：Webdisk
2026 年 5 月中旬	推薦者発表	学内選考の結果（推薦の可否）を、申請者全員に郵送にて通知します。なお、推薦者全員が免除認定されるとは限りません。
	日本学生支援 機構での選考	
2026 年 7 月下旬～	免除者認定	日本学生支援機構から免除認定結果が通知されます。 2026 年 6 月末時点で機構に登録されている住所に送付されます。 転居の際は、すみやかにスカラネット・パーソナルで住所変更をおこなってください。

3. 申請書類作成要領

①2025 年度業績優秀者返還免除申請書

- (1) 記入例をよく読み、Excel のファイルに直接入力し、作成してください。
- (2) 資料番号は【業績項番】-【枝番】としてください。同じ【業績項番】のうち、自身が最も優れていると考える業績を【枝番】の1としてください。ただし、進行中（投稿中・査読中・掲載予定等）の業績を【枝番】の1とすることはできません。

※審査はすべての業績で行います。【枝番】の1とした業績のみで審査をするわけではありません。

博士後期課程の方は、ガイドラインを満たしている業績を枝番の1としてください。

- (3) 記入後は両面印刷してください。印刷時に文字が見切れないよう十分確認してください。

②特に優れた業績を証明する資料

下記要領に従って、紙媒体およびデータで提出してください。

6「授業科目の成績」、7「研究又は教育に係る補助業務の実績」（TA、RA）を業績として挙げる場合は、次項③④を参照してください。

<紙媒体（2部）>

- (1) ①2025 年度業績優秀者返還免除申請書に記載した**すべての業績**について提出してください。
- (2) 資料はできる限りA4サイズにしてください。
- (3) 申請書の資料番号欄に記入した番号を、対応する資料の右上に記載してください。
- (4) 資料に記載されている**申請者名や論文名、会議名、学術雑誌名、著者名、発表者名、発行年、発表年等に蛍光ペン等でマークしてください。**
- (5) 博士前期課程の学生が1「学位論文その他の研究論文」の業績として修士論文を挙げる場合、紙媒体での資料提出は不要です。
- (6) 提出する資料の一番上に「特に優れた業績を証明する資料<表紙>」を付けてください。業績は資料番号順に並べてください。

<データ資料>

- (1) 業績の種類により、データの最大ページ数および必要項目が定められています。別紙「資料の必要項目及びページ数」を確認したうえで、作成してください。
- (2) ①2025 年度業績優秀者返還免除申請書に記載した業績のうち、各【業績項番】の**【枝番】が1の業績**についてのみ提出してください（業績項目1つにつき、1点の資料となります）。
提出期間：2025 年 12 月 22 日（月）～2026 年 1 月 30 日（金）
ファイル形式：PDF
ファイル名：「学生 ID」+「氏名」+「資料」+「（申請書に記載の資料番号）」
（例）1301240999 機構太郎資料 1-1.pdf 半角・スペース不要
- (3) 【該当者のみ】博士前期課程の学生が1「学位論文その他の研究論文」の業績として修士論文を挙げる場合、【枝番】にかかわらず修士論文の梗概（Abstract）を提出してください。
提出期間：2026 年 3 月 2 日（月）～2026 年 3 月 6 日（金）
ファイル形式：PDF
ファイル名：「学生 ID」+「氏名」+「修論資料」+「（申請書に記載の資料番号）」
（例）1301240999 機構太郎修論資料 1-2.pdf 半角・スペース不要

(4) データ提出先

提出期間内に、所属研究科の URL より Webdisk にアップロードしてください。

文化情報学	https://webdisk.doshisha.ac.jp/public/KTIyAqgNnzLQ5PcdfLBKog67NaZ-pw9Iohb9s5T3UaPL
理工学	https://webdisk.doshisha.ac.jp/public/IToyA0INXxLVjvJPVFNMYYToWC3ejZrqovqGbUiOMayO7
生命医科学	https://webdisk.doshisha.ac.jp/public/KTYwAAdNnxLEFgfWnQfU-kgtZn7qtl7dE5TuFk39PKp
スポーツ健康科学	https://webdisk.doshisha.ac.jp/public/8TowA1tNXzLJ4_ZRyy5tIRcWjJt2_bdk2Q-nLD8ZaT7b
心理学	https://webdisk.doshisha.ac.jp/public/OTIyAWHhHzLLAPdcWXf2EkZWSMLHRFxcOrPI9HKS9wp
脳科学	https://webdisk.doshisha.ac.jp/public/yTozAOsNXyLxMfgdy45bO8jY-LfIxy7krBDU4L4zFY
専門職 (BS・LS)	https://webdisk.doshisha.ac.jp/public/vTIwATqNXwLZuPcke0FBP7qRRuWpp5bYPPEFKhtyhCM
上記以外の研究科	https://webdisk.doshisha.ac.jp/public/gTizAViN3zLgofibEyQWJnmOkcTVk6b6AYoskLNYXXi

③証明書交付願の提出 (該当者のみ)

- (1) 6「授業科目の成績」を業績として挙げる場合は提出してください。
- (2) 「学内発行機発行 (紙媒体)」メニューから、「証明書交付願 (学籍・学業に関する証明書用) (在籍者向け) [和文]」(200 円) を 1 部申請・印刷し、必要事項を記入のうえ、申請書等とともに提出してください。

2025 年度より証明書発行手順が変更となっています。詳細は別紙「証明書交付願提出手順」を参照してください。

- (3) データでの提出は不要です。

④TA 等担当実績証明書の提出 (該当者のみ)

- (1) 7「研究又は教育に係る補助業務の実績」の業績として TA または RA を挙げる場合、別紙入力見本に従い、TA 等担当実績証明書を作成してください。
- (2) 紙媒体 1 部およびデータを提出してください。
- (3) データの提出要領は下記のとおりです。
提出期間：2025 年 12 月 22 日 (月) ～2026 年 1 月 9 日 (金)
ファイル形式：**Word**
ファイル名：「学生 ID」+「氏名」+「資料」+「(申請書に記載の資料番号)」
(例) 1301240999 機構太郎資料 7-1.docx 半角、スペース不要
提出先：上記②(4) データ提出先と同じ Webdisk にアップロードしてください。
- (4) TA、RA どちらも担当しているなど、複数の担当実績証明書を作成する場合は【枝番】にかかわらず、紙・データともにすべて提出してください。

⑤博士課程の業績評価に関するガイドラインについて (博士後期課程のみ)

ガイドラインを満たしている資料番号を記入し、提出してください。

⑥返還免除申請チェックリスト

提出前に不備がないか確認してください。司法研究科生、ビジネス研究科生は不要です。

⑦学内選考結果送付先届

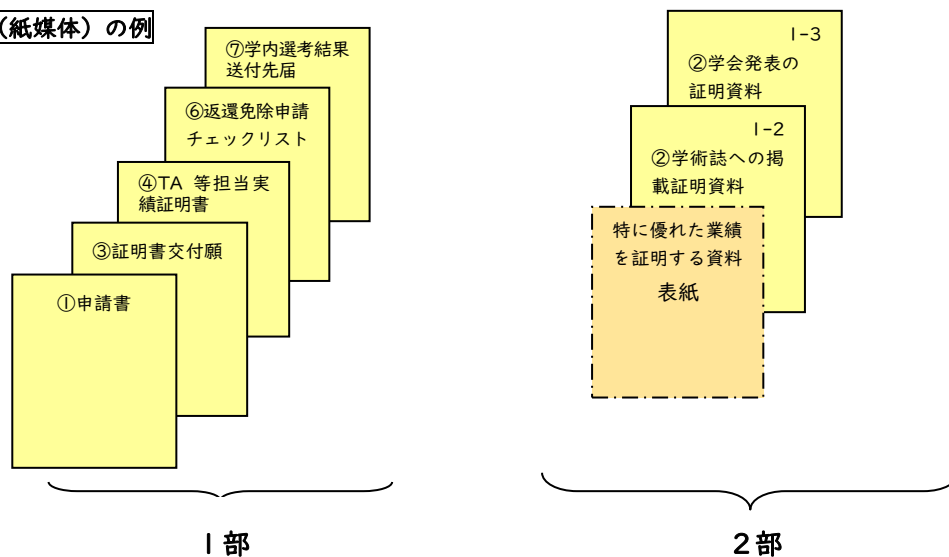
2026 年 5 月 1 日以降の連絡先 (未定の場合は実家の住所) を記入してください。なお、提出後に変更があった場合は、学生生活課に連絡してください。

提出物の例

5種の業績により申請する場合

修士論文【1-1】、学術誌への掲載【1-2】、学会発表【1-3】、授業科目の成績【6-1】、TA【7-1】

提出書類（紙媒体）の例



提出書類（データ）の例

- ・②修士論文梗概【1-1】※3/2～3/6に提出
- ・④TA等担当実績証明書【7-1】※1/9までに提出

4. 申請上の注意

- (1) 様式が異なるもの（昨年度の様式や、記入項目を変更したもの）は一切受付できません。
- (2) 申請書の「大学院における研究課題等」欄について、特定の研究課題のない申請者は、当該課程での課題・目標・計画等、特に力を入れて取り組んだ内容を記入してください。
- (3) 所属の研究科によって評価対象項目が異なりますので、申請する項目が評価対象か事前に確認してください。各研究科の評価項目、基準は、学生生活課と各研究科事務室で公表しています。
- (4) 特に優れた業績についての注意事項
 - (i.) 特に優れた業績の対象となる期間は、**第一種奨学金の奨学生であった期間（休停止期間を含む）**です。当該課程において優れた業績を挙げることが必要ですので、例えば、博士後期課程で奨学金の貸与を受け、今回返還免除申請する場合、博士前期・修士課程で挙げた優れた業績は対象とはなりません。
 - (ii.) 優れた業績の種類のうち、「大学院設置基準第16条に定める特定の課題についての研究の成果」および「大学院設置基準第16条の2に定める試験及び審査の結果」は、博士前期・修士課程修了のため、修士論文の審査に代えて行うものをいいます。申請する業績によって「業績を証明する資料」の提出時期が異なりますので、事前に学生生活課へ問い合わせてください。
- (5) 原則として、郵送による申請は受け付けません。
- (6) 提出された申請書類は、一切返却できません。

5. よくある質問

Q1. 現在、研究論文を学術誌に投稿中ですが、現時点では投稿中で掲載が確定していません。このように業績が確定していない場合、評価されますか？またその際の資料はどのようなものですか？

A1. 所属の研究科事務室で確認してください。

Q 2. 博士後期課程の者が、業績を証明する資料として博士論文を提出する場合の取り扱いが申請要領に書いていませんが、どのようにすればよいでしょうか？

A 2. 申請書と同時に提出してください。

Q 3. 留学・休学等により奨学金を休止していた時期がありますが、この期間の業績は評価対象期間になりますか？

A 3. 休止期間中の業績も評価対象となります。

Q 4. 博士前期課程 2 年次から奨学金の貸与を受けています。1 年次に挙げた業績は評価対象となりますか？

A 4. なりません。奨学金の貸与を受けている期間に挙げた業績のみが評価対象となります。

Q 5. 学会で発表したことを業績とする場合、学会で発表したことがわかる書類（プログラムや要旨集、名簿等）か、発表した研究内容の書類か、どちらが資料として適切でしょうか？

A 5. いつ、誰が、何を、どうしたかがわかる資料が望ましいです。学会で発表したことがわかる書類（プログラムや要旨集、名簿等）と、その学会で何を発表したかがわかる書類を提出してください。

Q 6. 博士前期課程の理工学研究科生ですが、修士論文のみを業績として申請する場合、修士論文梗概の提出は必要ですか？

A 6. 理工学研究科の場合、修士論文そのものは評価の対象になりません。そのため、修士論文梗概の提出も不要です。

Q 7. 論文を業績として申請する場合、論文を製本して提出する必要はありますか？

A 7. ありません（業績を証明できれば結構です）。

Q 8. 申請受付期間（2026 年 1 月 9 日（金））以降に「業績を証明する資料」を追加で提出することはできますか？

A 8. できません。

Q 9. ボランティア活動を業績として挙げる場合、どのような資料を提出すればよいでしょうか？

A 9. そのボランティア活動が、申請者自身の専攻分野に関連する内容でなければ評価の対象とはなりませんので、十分ご注意ください。

提出資料としては、申請者が活動を行っていたことを、主催者等の第三者が証明または評価しているもので、申請者の名前が明記されている資料が必要となります。

Q 10. 返還免除制度に関する不明点はどこに問い合わせればよいでしょうか？

A 10. 書式などの形式的なことは学生生活課に、選考や業績を証明する資料に関することは研究科事務室に確認してください。

Q 11. 標準修業年限で修了できない場合、申請可能でしょうか？

A 11. 研究科によっては、標準修業年限での修了（見込）者を選考対象とする場合がありますので、申請前に所属の研究科事務室で確認してください。

※返還免除内定者が修業年限内に修了できなくなった（学位を取得できなくなった）場合は、至急学生生活課まで申し出てください。

【本件に係る問い合わせ先】

同志社大学 学生生活課 月～金（平日）9：00～11：30 12：30～17：00
今出川校地（寒梅館 1 階）Tel 075-251-3280
京田辺校地（成心館 1 階）Tel 0774-65-7430